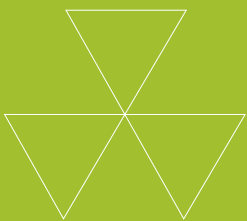


同志社大学大学院 総合政策科学研究科

ソーシャル・イノベーション研究コース

総合政策科学専攻博士課程 前期課程

2006年度 新設



Master Program in Social Innovation
Graduate School of Policy and Management, Doshisha University

ソーシャル・イノベーション研究コースは、地域社会に生起する具体的な公共問題を解決できる実践能力を兼ね備えた行動型研究者を養成します。

本コースが目指すもの

地域社会に生起する具体的な公共問題を解決できる実践能力を兼ね備えた行動型研究者の養成です。本コースはキャンパス外市街地や農山村に設けた社会実験施設での社会実験を履修要件として義務づけています。社会革新の実践家、公共問題の当事者、地域住民(=地域サポーター)との交流密度が高い現場での研究は、大学院研究室だけでは決して得られない多様な学習と経験、そして人脈形成の機会を提供してくれます。

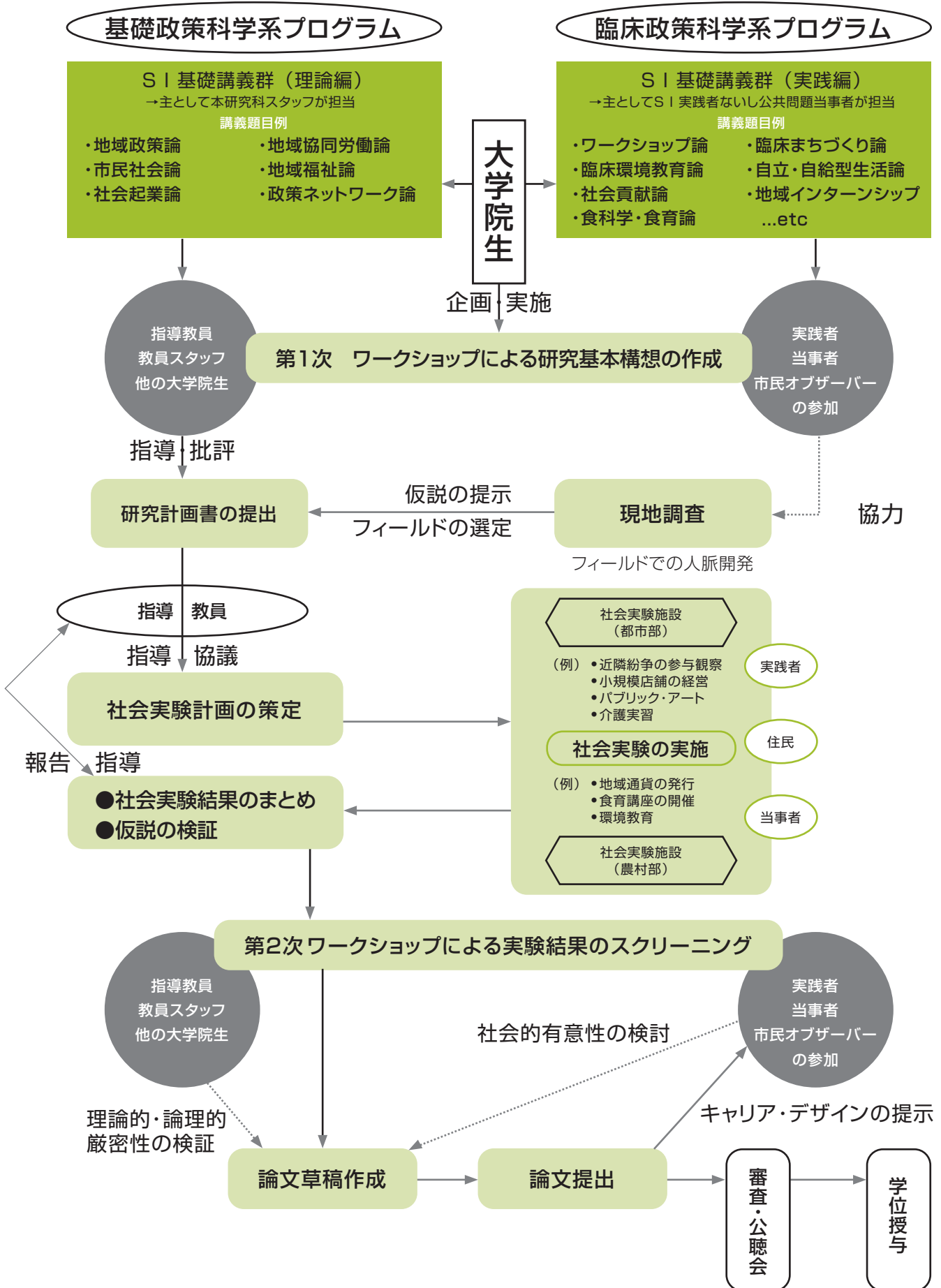
大学院生が主体的に自らの研究プログラムを立案・実行していくところにその大きな特徴の一つがあります。教員組織と地域サポーターが参加して行う二度のワークショップも大学院生自身が企画・運営するのです。いわば、地域社会という臨床の場で実践知を鍛錬し、それを大学院に戻って理論的に磨き上げることにこそ、本コースの真骨頂があると言えます。

特徴と教育課程

際立った特徴の一つは、コースワーク、論文作成指導、学位審査等の各段階が有機的かつ体系的に連関し、かつ基礎政策科学系プログラムと臨床政策科学系プログラムとの相互媒介的連動によって学位授与へと導く教育課程を用意している点にあります。

- 1 まず、ソーシャル・イノベーション基礎講義群(理論編・実践編)を受講します。実践編の講師は地域サポーターとして本コースを支えてくれる実践家や市民等です。
- 2 次に、研究基本構想をワークショップの形式で創出することが課題となります。自らの頭だけで考えるのではなく、集会的な知的作業によってアイデアを創出していくファシリテーターとしての能力の発揮と自己育成が求められます。
- 3 その後、現地調査を経て研究計画書が提出されますが、この研究計画書は社会実験計画と必ずセットになっていなければなりません。市街地および農山村に設けられたオフ・キャンパス実験施設における社会実験でのデータの獲得と仮説の検証作業が論文の必須の要素となるからです。
- 4 実験結果が報告書にまとめられた段階で、第2次ワークショップを自ら企画・実施しなければなりません。このワークショップには、教員組織はもちろん、地域サポーターも第1次と同様に参加し、それぞれの立場から指導・批評・助言を行います。
- 5 以上のプロセスを経て、初めて論文草稿執筆作業に移行することになります。なお、論文提出時までには、地域サポーターに自らの職業計画(キャリア・デザイン)を提示しなければなりません。

ソーシャル・イノベーション (SI) 研究コース概念図



ソーシャル・イノベーション研究コース

教員紹介

新川 達郎	教授	地域政策論、ソーシャル・ベンチャー演習
今里 滋	教授	社会起業論、ソーシャル・ベンチャー演習
井上 恒男	教授	地域福祉論
佐藤 厚	教授	地域協同労働論
武蔵 勝宏	教授	政策ネットワーク論
川浦 昭彦	教授	地域経済論

上記の教員以外にも、本コース担当の教員を予定しています。

前期課程

募集人数 10名

入学試験日 2006年2月18日(土)

入学試験科目

一般入学試験選考	英語、小論文、面接
特別入学選考Ⅰ	小論文、面接
特別入学選考Ⅱ	面接
推薦入学選考(社会人)	面接

カリキュラム

必修科目

- 政策科学体系論
- 論文指導関連科目
ソーシャル・イノベーション基礎論
- 演習科目
ソーシャル・ベンチャー演習ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB

選択科目

- 展開科目
基礎政策科学系科目
地域政策論、市民社会論、地域福祉論
社会起業論、政策ネットワーク論、地域協同労働論
臨床政策科学系科目
ワークショップ論、臨床環境教育論
臨床まちづくり論、社会貢献論、食科学・食育論
自立・自給型生活論、地域インターンシップ

論文

※カリキュラムは、大きく分けて他に公共政策関連科目、企業政策関連科目、ヒューマン・セキュリティ研究関連科目、共通科目があります。異なるコースの科目でも自由に選択することができ、これにより専門的な知見を深めつつ多様な知識を得られるよう配慮しています。

履修方法

必修科目、ソーシャル・イノベーション研究コースから16単位以上を含め、30単位以上を履修すること。また、指導教員担当の演習科目を必ず履修すること。

※裏面に記載の「履修プロセスの概念図」を参考にしてください。

お問い合わせ

同志社大学大学院 総合政策科学研究科

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
総合政策科学研究科事務室
TEL(075)251-3860 FAX(075)251-3094